



龍頭斧・儀丈槍・朴刀・月牙斧・赤涼傘を持った中国儀仗の行列

さて、冊封儀式の内容は当日のリーフレットに詳しく記されていますが、再現に当たっては、歴史資料をもとに現代的なイベントとして解釈や演出を加えて構成されています。闕庭（けつてい）・宣読台（せんどくだい）という儀式の舞台、三跪九叩頭（さんききゆうこうとう）の拝礼、中国と琉球音楽の演奏、中国語による詔書（しやうしよ）・勅書（ちよくしよ）の発声など、往時の雰囲気を感じだんに体感することが出来ます。

出演は公募で選ばれた国王の他、演劇集団や地域の方々が担っています。また冊封使行列の路地楽は首里高校生、儀式の生演奏は中国音楽が御座楽復元演奏研究会、琉球音楽が安富祖流絃声会によるものです。イベントを見逃した方も、北殿に冊封儀式の模型が展示されていますので、ぜひご覧ください。また、同じく御庭で行われる儀式として、国王と役



法司官、親方、親雲上が琉球衆官として儀式に参列します

出演者の皆さんは何度もリハーサルを繰り返して本番に望みます。また往時の儀式に参加していたのは当然男性役人のみですので、イベントでも音楽の奏者以外は全員男性で構成されています。敵か硬派な雰囲気を感じていたければと思います。

華やかな琉球王朝時代を体感できる

# 首里城祭

2012年10月26日～11月4日



写真提供：大城弘明

## 王朝文化の再現

今年で二〇年目を迎える首里城公園。毎年開催される首里城祭では、公園内外で華やかなイベントが催されます。首里城祭の一番のめどころは、復元された空間で行われる王朝時代の儀式の再現ではないでしょうか。祭りでは、琉球王国に訪れた中国からの使者「冊封使（さつぽうし）」の迎えとその儀式をテーマに、一〇月二七日には冊封使行列・冊封儀式（公園内）、二八日には琉球王朝絵巻行列（国際通り）が行われます。



首里城正殿前御庭で敵かに行われる冊封儀式

### 冊封儀式

10月27日

「冊封（さつぽう）」とは、中国皇帝が周辺諸国に使者を派遣し、皇帝の名のもとにその国の王を任命すること、またはその儀式のことを言います。当時は



琉球国王をはじめ独特の衣装も見所のひとつ

人による正月を祝賀する「朝拝御規式（ちようはいおきしき）」が正月元日・二日に行われています。



唐楽（上）琉楽（下）の生演奏も

### 琉球王朝絵巻行列

10月28日

国際通りで行われる絵巻行列は、首里城公園の開園行事として行われたもので、一般市民や芸能団体が参加する沖繩の参加型イベントのひとつとして定着しています。那覇に宿泊した中国の使者・冊封使が首里城に訪れる雰囲気再現した冊封使行列、国王と王妃を中心とした琉球人行列、さらに琉球の伝統芸能の行列を加えた総勢千名もの華やかな大行列です。



綾門大道から冊封使を先頭に冊封使行列がスタート

の東アジアは中国皇帝を頂点とした封建秩序を保つため、中国国内および周辺諸国の間で冊封関係を結んでいました。琉球では一三七二年に中国・明より使者が訪れたことを契機に中国と正式に冊封関係を結びます。はじめて冊封儀式が行われたのは、一四〇四年の中山王の武寧からで、以来、約四六〇年間に二五回の冊封儀式が琉球で行われました。冊封関係は主従の関係を結ぶだけでなく、中国との貿易が行えることを意味しており、これによって琉球は貿易の富を得ていたわけです。首里城公園では、冊封儀式が行われた一四〇四年から六百年が経過したことを記念し、二〇〇四年から毎年「冊封儀式」の再現を行っています。



琉球王朝祭り首里 11月3日

「国王御三ヶ寺参詣行列」をモデルとした古式行列と、各自治会の旗頭や獅子舞、子供会等が参加する祝賀パレードが龍潭通りでご覧いただけます。



万国津梁の灯火 10月27日～28日

綾門大道、当蔵交差点、龍潭から首里城に続く道を7千本のキャンドルが幻想的に彩ります。この時しか見られない夜の首里城を是非お楽しみください。



芸大祭 2012 11月2日～3日

琉球芸能・ガムラン・西洋音楽の演奏会・各種展示展に加え、子供向けワークショップや体験工房なども。大人気の陶器市は今年も開催！

## 首里城周辺 イベント情報